

タイトル 「研究発表 I」

講演者 大槻 実紀、椎名由美子、市川 礼子、植木 剛克、大沼 美春
岸田 保子

学校名 県立川崎工科高等学校 P T A

講演テーマまたは研究テーマ 「PTA 活動の取組と課題について」

1 はじめに

川崎工科高等学校は JR 南武線平間駅から徒歩 8 分にある工業高校である。機械・電気・環境化学に係る 6 つの専門コースが設置されている。工業の勉強以外に部活動・資格取得に力を入れている。

2 P T A 活動について

川崎工科高等学校 P T A は毎年 5 月に定期総会を開催し新規体制としてスタートする。運営委員会は毎月 1 回程度で開催しており、会長・副会長・書記・会計の本部役員と 4 つの各専門委員会の委員長と副委員長で構成されている。4 つの各専門委員会では各種校内外イベントへの対応をしているほか、P T A 委員でその他行事のサポートなども行っている。

3 各専門委員会と行事のサポートについて

(1) 学年・交通安全推進委員会

① 学年委員会

文化祭出店や卒業記念品の贈呈を取り纏めている。昨年度は印鑑を贈呈した。

② 交通安全委員会



川崎地区交通安全大会のテーマに沿った、交通安全川柳大会を実施している。全生徒から交通安全川柳を募集、昨年度は 140 以上の作品の応募があった。その中から最優秀賞、校長賞、P T A 会長賞など合計 11 の賞を設け表彰をしている。この交通安全川柳を通して、生徒の交通安全に対する意識の向上に役立っている。

(2) 成人教育委員会



① 施設見学会

保護者対象で石鹼製造、電気工事、機械加工など、普段見る機会が無い設備や実習の様子を見学でき、参加者からは大変喜ばれている。

② バスツアー

保護者対象で社会見学バスツアーを企画している。昨年は応募者が少なく断念した。今年はまだ計画段階である。

③ 文化祭でのうどん調理・販売

文化祭で毎年うどんの販売を行っている。レシピや人員配置や仕入れ先なども詳細に受け継がれているためか、生徒からの評判も非常に高く、真っ先に完売する。

(3) 広報委員会



本校では年2回、7月と3月に PTA 広報誌「ひらま」を発行している。内容は、校長先生をはじめ先生方の紹介、体育祭や文化祭などの学校行事、校外学習や校外イベント参加情報、部活動などを紹介している。高校は小中と違い、学校の様子を知る機会がかなり減るかと思われる。そんな学校での様子を保護者の方にお届けすることを心掛けて撮影、編集、発行をしている。ただ広報誌に立ちふさがる問題があり、1. 持って帰るけど部屋に放置し保護者に渡さない、2. 学校から持って帰るカバンに入れっぱなしで毎日一緒に通学、3. いまも学校の机に入れっぱなしでどれも保護者の手に渡りません。時代は変わっても子供の生態は変わらず、もっと魅力ある広報誌制作に努めている。

(4) 厚生委員会

① 除草作業



毎年6月に除草作業をし、プランター内の土をふるいにかけて、草や根も取り除き、きれいになったプランターには、9月に新しい花を植える。この作業は6月と9月だけでなく、11月と1月にも同じように除草作業と花植えを行っている。特に来校者が多い文化祭や卒業式にたくさんのきれいな花が咲くように活動をしている。

② 文化祭でのバザー

各家庭から新品の不用品を提供してもらい、集まった献品を販売している。これらを通して生徒たちだけではなく地域の方々との交流も深めるように活動している。

(5) 行事のサポート

行事でのサポートはPTA委員に募集を図り各行事のサポートをしている。

① 体育祭(5月)

体育祭でドリンクサービスをPTA委員が行っている。当日各学年のエリアに設置されたテントをお借りしてドリンクを渡している。はじめは生徒も遠慮がちだが、一人ドリンクサービスを受けると次々にドリンクサービスを利用している。

② 学校説明会(9・11月)

保護者の声として学校の様子や生徒が入学したきっかけなどを紹介している。

他に説明会の受付や学校説明が終わると本校は工業高校であるため、実習室の見学を多くの中学生と保護者が参加する。

中学生や保護者が迷わないよう誘導も行う。なお、いつも事前打ち合わせの時に職員が実習装置の操作を行う様子を見せてくれる。

③ 平間銀座サマーフェスタ(中止)

8月の毎週土曜日に開催される行事で本校も最終週に出展している。商店街から警備はPTAの方に毎年お願いしているようで、これまで近隣の小中学校が行った。今年度より本校にも平間駅周辺3か所の警備と出展ブース付近の警備・誘導依頼があったが、台風10号の影響で中止になった。

